No.３－１

２０２１年度

地方創生の取組概要

説　明　資　料

豊岡市　政策調整部　政策調整課

小さな世界都市
-Local & Global City-
TOYOOKA

地 方 創 生 の 取 組 概 要　（目 次）

Ⅰ　2021年度 地方創生の戦略体系　5

Ⅱ　2021年度 地方創生事業の手段別予算概要　6

Ⅲ　2021年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要　10

【戦略目的】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている			
01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		
	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	
		No.1　豊岡ファンミーティング 【継続】	11
		No.2　Ｉターン推進（移住プロモーション）【継続】	12
		No.3　文化と教育の先端自治体連携 【継続】	13
		重複　（No.11）豊岡スマートコミュニティ推進機構	
		重複　（No.24）観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	
	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
		No.4　Uターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）【継続】	15
		重複　（No.40）高校生コミュニケーション教育等支援	
	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	
		No.5　Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）【継続】	17
		No.6　定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）【拡大】	19
02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている		
	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	
		No.7　IT企業誘致推進 【拡大】	21
		No.8　スマート農業推進 【継続】	23
		重複　（No.16）子育て支援総合拠点等整備	
	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
		No.9　内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）【継続】	25
		No.10　政策アドバイザー設置 【継続】	27
		No.11　豊岡スマートコミュニティ推進機構 【拡大】	28
		No.12　新規就農総合支援 【継続】	29
		No.13　豊岡農業スクール 【継続】	30

	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	
		№14　豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドPR推進 【継続】	31
		重複　(№8)スマート農業推進	
		重複　(№29)コウノトリ育むお米ブランド化推進	
	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	
		№15　多文化共生推進 【拡大】	33
		№16　子育て支援総合拠点等整備 【新規】	34
		重複　(№5)Ｉターン推進(ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等)	
		重複　(№35)アーティスト・クリエーター移住等促進	
03	いきいきと暮らす女性が増えている		
	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	
		№17　ジェンダーギャップ解消推進 【拡大】	36
		№18　子育て広場管理 【継続】	38
		№19　ファミリーサポートセンター 【継続】	39
	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	
		重複　(№17)ジェンダーギャップ解消推進	
		重複　(№18)子育て広場管理	
	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	
		№20　ワークイノベーション推進 【継続】	41
		№21　子育て中の女性の就労促進 【拡大】	43
		№22　子育てママの活躍機会促進 【継続】	44
		重複　(№16)子育て支援総合拠点等整備	
04	豊岡で人々が世界と出会っている		
	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
		№23　城崎温泉街交通環境改善 【継続】	45
		№24　観光事業(ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等) 【拡大】	46
		№25　観光まちづくり推進(専門人材配置) 【拡大】	47
		№26　インバウンド誘客推進 【継続】	48
		№27　豊岡演劇祭協同開催 【継続】	50
		№28　観光データ基盤構築活用 【新規】	51

	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	
		№29 コウノトリ育むお米ブランド化推進 【継続】	52
		重複 (№34)アーティスト・イン・レジデンス	
	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	
		№30 出石永楽館歌舞伎開催 【継続】	55
		№31 豊岡アートシーズン2021 【継続】	56
		№32 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2021参加) 【継続】	57
		№33 城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2021参加等) 【継続】	58
		№34 アーティスト・イン・レジデンス 【継続】	59
		№35 アーティスト・クリエーター移住等促進 【継続】	61
		№36 演劇のまちづくり推進 【拡大】	62
		重複 (№15)多文化共生推進	
		重複 (№27)豊岡演劇祭協同開催	
		重複 (№37)専門職大学連携推進	
	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	
		№37 専門職大学連携推進 【新規】	63
		重複 (№27)豊岡演劇祭協同開催	
		重複 (№40)高校生コミュニケーション教育等支援	
		重複 (№42)英語教育推進	
05		子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	
		№38 ふるさと教育推進 【継続】	65
		№39 おっとろっしゃ！とよおかのものづくり 【継続】	66
		重複 (№40)高校生コミュニケーション教育等支援	
	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	
		№40 高校生コミュニケーション教育等支援 【継続】	68
		重複 (№38)ふるさと教育推進	
	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	
		№41 コミュニケーション教育推進 【継続】	70
		№42 英語教育推進 【継続】	71

		№43　豊岡の未来を創る高校生支援 【継続】	72
		№44　非認知能力向上対策 【継続】	73
		№45　英語遊び保育推進 【継続】	74
06	結婚したいと思う人が結婚できている		
	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	
		№46　民間団体への婚活イベント補助 【継続】	76
		№47　若者独身者交流 【新規】	77
	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	
		№48　ボランティア仲人養成(恋するお見合い) 【継続】	79
		№49　出会い機会創出(はーとピー) 【継続】	80
		重複　(№46)民間団体への婚活イベント補助	
		重複　(№47)若者独身者交流	
	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
		№50　ボランティア仲人養成(縁むすびさん) 【継続】	82
		№51　結婚相談所機能拡充 【継続】	83
		№52　結婚・女性活躍推進調査 【継続】	85
		重複　(№16)子育て支援総合拠点等整備	
		重複　(№49)出会い機会創出(はーとピー)	

Ⅰ　2021年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

主要手段ー具体的手段		2021年度事業（*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載）
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	豊岡ファンミーティング、Ｉターン推進（移住プロモーション）、文化と教育の先端自治体連携、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）、高校生コミュニケーション教育等支援事業〔重複〕
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）、定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	IT企業誘致推進、スマート農業推進、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、子育て支援総合拠点等整備、Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）〔重複〕、アーティスト・クリエーター移住等促進〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進、子育てママの活躍機会促進、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、観光データ基盤構築活用
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2021、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2021参加）、城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2021参加等）、アーティスト・イン・レジデンス、アーティスト・クリエーター移住等促進、演劇のまちづくり推進、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おっとろっしゃ！とよおかのものづくり、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	高校生コミュニケーション教育等支援、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	民間団体への婚活イベント補助、若者独身者交流
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）、出会い機会創出（はーとピー）、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕、若者独身者交流〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成（縁むすびさん）、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕、出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕

Ⅱ 2021年度 地方創生事業の手段別予算概要

主要手段 （2桁）	具体的手段 （4桁）	
【01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	01	豊岡の良さが内外に伝わっている
	02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
01手段小計（6事業） ※重複は除く		
【02】 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
	02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
	04	市民が多様な人々を受け入れている
02手段小計（10事業） ※重複は除く		
【03】 いきいきと暮らす女性が増えている	01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
	02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
03手段小計（6事業） ※重複は除く		
【04】 豊岡で人々が世界と出会っている	01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている

（単位：千円）

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	豊岡ファンミーティング	2,241	大交流課
2	Ｉターン推進（移住プロモーション）	3,103	環境経済課
3	文化と教育の先端自治体連携	1,280	大交流課
重複	（No.11）豊岡スマートコミュニティ推進機構	―	―
重複	（No.24）観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	―	―
4	Uターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）	7,567	環境経済課
重複	（No.40）高校生コミュニケーション教育等支援	―	―
5	Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）	5,994	環境経済課
6	定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）	24,860	環境経済課
		45,045	
7	IT企業誘致推進	12,450	環境経済課
8	スマート農業推進	565	農林水産課
重複	（No.16）子育て支援総合拠点等整備	―	―
9	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）	42,404	環境経済課
10	政策アドバイザー設置	4,241	大交流課
11	豊岡スマートコミュニティ推進機構	1,517	大交流課
12	新規就農総合支援	24,141	農林水産課
13	豊岡農業スクール	9,774	農林水産課
14	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランドPR推進	4,490	環境経済課
重複	（No.8）スマート農業推進	―	―
重複	（No.29）コウノトリ育むお米ブランド化推進	―	―
15	多文化共生推進	2,258	政策調整課
16	子育て支援総合拠点等整備	571,487	こども育成課
重複	（No.5）Ｉターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）	―	―
重複	（No.35）アーティスト・クリエーター移住等促進	―	―
		673,327	
17	ジェンダーギャップ解消推進	6,495	ワークイノベーション推進室
18	子育て広場管理	198	健康増進課
19	ファミリーサポートセンター	1,680	こども育成課
重複	（No.17）ジェンダーギャップ解消推進	―	―
重複	（No.18）子育て広場管理	―	―
20	ワークイノベーション推進	8,310	ワークイノベーション推進室
21	子育て中の女性の就労促進	4,145	ワークイノベーション推進室
22	子育てママの活躍機会促進	430	健康増進課
重複	（No.16）子育て支援総合拠点等整備	―	―
		21,258	
23	城崎温泉街交通環境改善	253	建設課
24	観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	59,613	大交流課
25	観光まちづくり推進（専門人材配置）	21,140	大交流課
26	インバウンド誘客推進	28,672	大交流課
27	豊岡演劇祭協同開催	54,344	大交流課
28	観光データ基盤構築活用	34,438	大交流課
29	コウノトリ育むお米ブランド化推進	4,762	農林水産課
重複	（No.34）アーティスト・イン・レジデンス	―	―

主要手段 （2桁）	具体的手段 （4桁）	
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
04手段小計（15事業） ※重複は除く		
【05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
05手段小計（8事業） ※重複は除く		
【06】 結婚したいと思う人が結婚できている	01	若者が集い、交流する場が増えている
	02	多種多様な出会いの機会が充実している
	03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
06手段小計（7事業） ※重複は除く		

2021地方創生（52事業） 総計
※参考　2020地方創生（53事業）

事業No.	事業名	予算額	担当課
30	出石永楽館歌舞伎開催	86,559	出石振興局地域振興課
31	豊岡アートシーズン2021	12,376	文化振興課
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン2021参加）	7,018	生涯学習課
33	城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2021参加等）	18,179	大交流課
34	アーティスト・イン・レジデンス	17,095	大交流課
35	アーティスト・クリエーター移住等促進	298	大交流課
36	演劇のまちづくり推進	4,591	大交流課
重複	（No.15）多文化共生推進	―	―
重複	（No.27）豊岡演劇祭協同開催	―	―
重複	（No.37）専門職大学連携推進	―	―
37	専門職大学連携推進	809,086	大交流課
重複	（No.27）豊岡演劇祭協同開催	―	―
重複	（No.40）高校生コミュニケーション教育等支援	―	―
重複	（No.42）英語教育推進	―	―
		1,158,424	
38	ふるさと教育推進	2,881	こども教育課
39	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	400	環境経済課
重複	（No.40）高校生コミュニケーション教育等支援	―	―
40	高校生コミュニケーション教育等支援	5,190	環境経済課
重複	（No.38）ふるさと教育推進	―	―
41	コミュニケーション教育推進	851	こども教育課
42	英語教育推進	33,434	こども教育課
43	豊岡の未来を創る高校生支援	2,600	こども教育課
44	非認知能力向上対策	2,603	こども教育課
45	英語遊び保育推進	4,242	こども育成課
		52,201	
46	民間団体への婚活イベント補助	240	健康増進課
47	若者独身者交流	368	健康増進課
48	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）	1,146	健康増進課
49	出会い機会創出（はーとピー）	3,321	健康増進課
重複	（No.46）民間団体への婚活イベント補助	―	―
重複	（No.47）若者独身者交流	―	―
50	ボランティア仲人養成（縁むすびさん）	1,140	健康増進課
51	結婚相談所機能拡充	809	健康増進課
52	結婚・女性活躍推進調査	577	健康増進課
重複	（No.16）子育て支援総合拠点等整備	―	―
重複	（No.49）出会い機会創出（はーとピー）	―	―
		7,601	

	1,957,856	※対前年比 356.6%
	(549,001)	

Ⅲ　2021 年度
地方創生事業の戦略体系別取組概要

１ 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）

上位目的 （最終ｱｳﾄｶﾑ）	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的 （中間ｱｳﾄｶﾑ）	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

【2040 年の豊岡市の政策目標人口　⇒　62,165 人】

⑴　若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）
- **2015 年「39.5%」➡　2025 年までに「50%」に引き上げる**

⑵　合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）
- **2015 年「1.82 人」➡　2035 年までに「2.3 人」に引き上げる**

（参考：若者回復率　～2010 年国勢調査時と 2015 年国勢調査時の比較 ～ ）

	2010 年国勢調査 （ 2005→2010 年 ）	2015 年国勢調査 （ 2010→2015 年 ）	
全体	34.2%	39.5%	（ ＋ 5.3ﾎﾟｲﾝﾄ ）
男	34.7%	52.2%	（ ＋17.5ﾎﾟｲﾝﾄ ）
女	33.4%	26.7%	（ △ 6.7ﾎﾟｲﾝﾄ ）

２　講ずべき施策に関する基本的方向

⑴　豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。

⑵　その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市－Local&Global City－」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。

⑶　豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。

⑷　特に、若い女性を増やす対策を進める。

⑸　以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇らせ、地域活力の維持を図る。

「上位目的」（※最終アウトカム：豊岡市地方創生総合戦略において長期的に実現したい状態）を実現するために、「戦略目的」（※中間アウトカム：当面５年間程度で達成したい状態）を定め、戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この戦略目的に、それぞれ主要手段と、その主要手段を実現するための具体的手段を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

具体的手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	2021 年度予算額	6,624　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
1	豊岡ファンミーティング	2,241　千円	継続
2	Ｉターン推進 （移住プロモーション）	3,103　千円	継続
3	文化と教育の先端自治体連携	1,280　千円	継続
重複	（№11）豊岡スマートコミュニティ推進機構	（1,517　千円）	―
重複	（№24）観光事業 （ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	（59,613　千円）	―
合計		6,624　千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
№１　事業名　豊岡ファンミーティング		2021 年度予算額	2,241 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡市のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン”が増え、“豊岡ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡市の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

○　本市の取り組み・理念に共感した支持者（サポーター）であり、周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン”との関係強化のため、豊岡市内で豊岡ファンミーティングを開催する。

１　事業内容

⑴　開催時期

2021年９月頃　（豊岡演劇祭2021開催期間中）

⑵　開催場所

豊岡市内

⑶　内容

ア　“豊岡ファン”へ豊岡市の取り組みを紹介する。（情報アップデート）

イ　豊岡市内キーパーソンと“豊岡ファン”との交流会を実施する。

※従来、東京で企業を招いて豊岡を PR していた豊岡エキシビションの発展形

2019 年度：参加者数 119 名、企業・団体数 78 社

２　事業期間

2020 年度～

※2020 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため未実施

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

2,241 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
№２　事業名	Ｉターン推進（移住プロモーション）	2021 年度予算額	3,103　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者の UI ターンへの意識が醸成されている。

《事業目的（趣旨）》

○　市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住前に必要な情報（地域事情・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。

１　事業内容

⑴　移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」等による情報発信

市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事や SNS で発信する。併せて、住まい、仕事、支援制度などの情報も発信する。

⑵　移住ポータルサイトの保守管理及び修正・更新

WEB サイトのシステム保守やデザイン変更、新規ページの作成など。

２　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

3,103 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：1,700 千円）

移住ポータルサイト
「飛んでるローカル豊岡」

市民ライターによるオンライン編集会議の様子

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
№３　事業名　文化と教育の先端自治体連携		2021 年度予算額	1,280 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　文化・芸術・教育に関心の高い若者や子育て世代が、豊岡に魅力を感じている。

《事業目的（趣旨）》

○　文化や教育による先端的なまちづくりを進めている自治体が連携し、互いの強みを磨き、足りないところを学び合うとともに、新たな価値観、手法などを共同で情報発信や構成自治体の住民・職員の理解と浸透を促進する。

１　事業内容

⑴　構成自治体職員等の研修

文化と教育のまちづくりの意義や価値を考え、まちづくりにおける俯瞰した視点や多様性の認識など政策企画の前提となる能力を磨く研修を開催する。

⑵　演劇的手法を用いた非認知スキル向上の取組み、効果測定・分析・検証
　連合の共同事業として決定した非認知スキル向上の取組みとその効果測定・分析・検証を実施する。
⑶　連合の WEB サイト運営
　連合の理念や構成自治体の取組み、合同イベントなどの情報発信等を行う。

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

文化と教育の先端自治体連合
＜構成自治体（２市３町）＞
　北海道東川町、富山県南砺市、岡山県奈義町、香川県小豆島町、豊岡市

４　予算額

1,280 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手　段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	2021 年度予算額	7,567　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規･継続･拡大)
4	Ｕターン推進 （ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）	7,567 千円	継続
重複	（No.40）高校生コミュニケーション教育等支援	(5,190 千円)	―
合計		7,567 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No.４　事業名	Ｕターン推進 （ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）	2021 年度予算額	7,567　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡の企業情報や仕事のやりがいだけでなく、豊岡の暮らしや楽しみ方を併せて情報発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Ｕターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

○　オンラインを含め、様々な場所とタイミングで、その人にマッチした情報発信を行う。相談者と継続的にコミュニケーションを図り、途切れることなく意識を豊岡に向けることでＵターンを促進する。

１　事業内容

⑴　ジョブサポ豊岡（Ｕターン希望者の職業紹介所）及びジョブナビ豊岡（求人・企業情報サイト）の運営

ア　ジョブサポ豊岡の運営

イ　仕事の相談

オンライン相談会５回、リアル相談会２回、大学内相談会

ジョブナビ豊岡窓口相談（随時）

ウ　ジョブナビ豊岡での情報発信

市内登録企業90社（予定）の企業情報・しごと情報を掲載

サイト管理及び更新業務

⑵　兵庫県北部合同企業説明会の実施

場　　所：大阪市内（予定）

参加企業：但馬管内70社（うち市内40社程度）

⑶　若者応援ブック（冊子と電子ブックで魅力紹介）
　若者の多様な働き方や、市内在住者のおすすめスポットなどを紹介した冊子を作成。市内高校を通じて大学生等に配布する。
　電子ブックは市内の企業情報も掲載し、さらにジョブナビ豊岡の各企業ページとリンクし、スマートフォン等で閲覧可能。

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

7,567 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

⑴　ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営　1,627 千円
⑵　兵庫県北部合同企業説明会の実施　　4,950 千円
⑶　若者応援ブック　　990 千円

2020 年度実施　オンライン企業説明会
（オンラインを活用した学生と企業とのマッチング）

2020 年度就活応援ブック
デザインと内容を若者向けに一新

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	2021 年度予算額	30,854　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
5	Ｉターン推進 （ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）	5,994 千円	継続
6	定住推進 （移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）	24,860 千円	拡大
合計		30,854 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
№５　事業名	Ｉターン推進 （ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）	2021 年度予算額	5,994　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡市への移住を検討する人に寄り添い、移住定住に結び付ける。また、人と人とのつながりの場を作ることで、移住定住意欲の向上や移住者の地域への愛着醸成につなげる。

《事業目的（趣旨）》

○　移住希望者が求める情報を的確に提供する。また、地域と関わる企画について情報発信を行うとともに、移住相談時に地域住民との新たなつながりを創出する。

１　事業内容

⑴　ワンストップ窓口の設置

移住希望者への「地域・住まい・仕事等」の情報提供や、企業とのマッチング等を一括して実施する総合窓口の設置。

⑵　移住イベントへの出展

潜在的な移住希望者が多い都市圏（東京・大阪）で開催される移住イベントへ出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。

⑶　まちのサードプレイス（暮らしのパーラーTOYOOKA）の運営

年齢や性別、立場の異なる人が交流する場を提供することで新たな人のつながりを創出する。移住相談と現地案内等を市民と連携・協働して行い、移住を推進する。

⑷　移住スカウトサービス「SMOUT」運用

移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐ WEB サービス「SMOUT（スマウ

ト）」を利用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口を増加させる。

2　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

5,994 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：3,300 千円）

⑴	ワンストップ窓口	301 千円
⑵	移住イベントへの出展	509 千円
⑶	まちのサードプレイス運営	4,832 千円
⑷	SMOUT 運用	352 千円

「まちのサードプレイス」
移住者との対談企画

移住ｽｶｳﾄｻｰﾋﾞｽ「SMOUT」
を活用した情報発信

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No.６　事業名	定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）	2021 年度予算額	24,860　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　移住定住を検討する方々に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

○　移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。

１　事業内容

⑴　移住への各ステージに応じた支援

ア　移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金）

〔対象経費〕

宿泊費、航空運賃、レンタカー借受費用、来訪に要した高速料金（片道）

イ　移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金）

〔対象経費〕

空き家の改修費、引越し費用、運転免許取得費、インターネット環境整備費、賃貸用空家の清掃費等

ウ　移住後の生活支援

コウノトリ育む農法のお米１俵（60kg）贈呈

⑵　空き家等を活用した学生向けシェアハウス整備補助金　＜新規＞

市内の空き家を対象として、芸術文化観光専門職大学生向けのシェアハウスを整備する事業者等に経費の一部を補助する。

⑶　コワーキングスペース開設支援補助金　＜新規＞

市内での起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースを新たに開設する事業者等に経費の一部を補助する。

２　事業期間

2010 年度～

３　事業主体

豊岡市

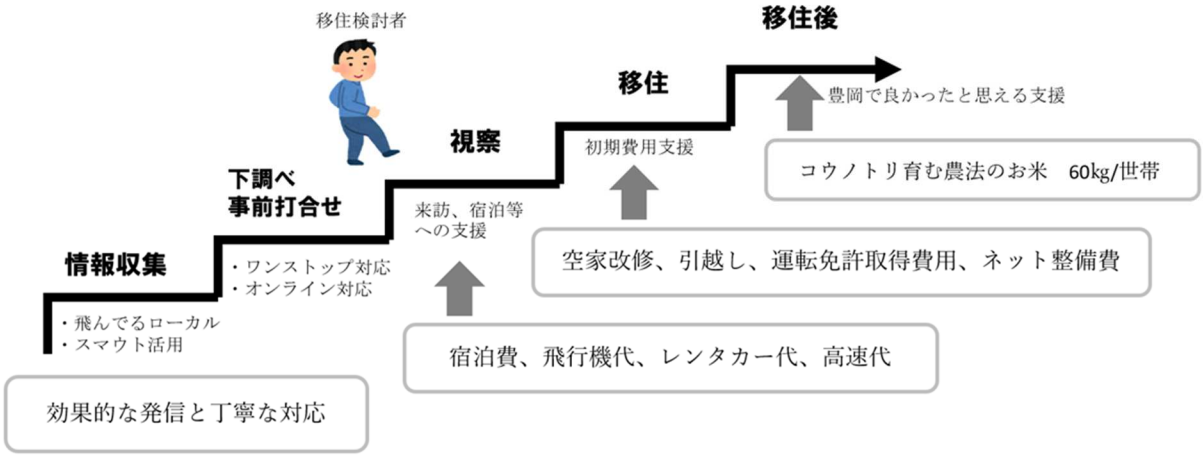
4　予算額

24,860 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：20,000 千円）

⑴　移住への各ステージに応じた支援
ア　移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金）　1,110 千円
イ　移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金）　17,800 千円
ウ　移住後の生活支援　1,200 千円

⑵　空き家等を活用した学生向けシェアハウス整備補助金　2,000 千円
豊岡市（補助率 1/4　上限 1,000 千円）※兵庫県（補助率 1/2　上限 2,000 千円）
※市は県補助事業への随伴補助を行う。

⑶　コワーキングスペース開設支援補助金　2,750 千円
豊岡市（補助率 1/4　上限 2,750 千円）※兵庫県（補助率 1/4　上限 2,750 千円）
※市は県補助事業への随伴補助を行う。



担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	2021 年度予算額	13,015　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
7	IT 企業誘致推進	12,450 千円	拡大
8	スマート農業推進	565 千円	継続
重複	（№16）子育て支援総合拠点等整備	(571,487 千円)	―
合計		13,015 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている		
№7　事業名　IT 企業誘致推進		2021 年度予算額	12,450　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、UI ターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

○　若者や女性が働きたい職場となることが期待される IT 企業等を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。また、IT 企業誘致に関する補助制度の一部を拡充し、地域課題解決に取り組む事業者への支援に対応する。

1　事業内容

⑴　オンライン方式による IT 企業誘致活動　＜新規＞

ア　自治体との共同事業を希望する事業者や、地方にサテライトオフィス等の開設を検討する事業者をターゲット企業に設定する。

イ　オンラインマッチングイベント（※1）への参加によりターゲット企業へ接触する。

ウ　ターゲット企業が有する技術がその解決に役立つ地域課題や、興味を引くような豊岡の施設・人物等の記事を WEB ライター（※2）が作成して SNS で発信する。

エ　地域課題の解決をターゲット企業にビジネスチャンスと捉えてもらうことで誘致につなげる。

※1　地方へのビジネス参入を検討する企業とＩＴ企業等のサテライトオフィス誘致を目指す自治体がオンライン上で面談するイベント
※2　依頼主より依頼を受けて WEB サイト上に掲載する記事を執筆する職業

⑵　IT 関連事業所開設支援補助金　＜拡充＞

市内に新たに IT 関連の事業所を開設、または新規雇用を伴う事業拡大により移転等を行う事業者に対し、補助金を交付する。

対象経費	県補助併用の場合		市単独補助の場合	
	補助率	限度額	補助率	限度額
①賃借料	1/4 以内	30 万円/年	1/2 以内	60 万円/年
②通信回線使用料				
③建物改修費		50 万円（※1）		100 万円（※2）
④事務機器取得費		25 万円		50 万円
⑤開発費（※3）	定額	50 万円/年	左記と同じ	
⑥プロジェクト経費＜追加＞（※4）	定額又は 1/2 以内（※5）	200 万円/3 年（※6）		

期間　①②⑥３年間（36 カ月）、③④開設時１回、⑤事業開始年度含む３年度間
※1　空き家等利用する場合は 100 万円
※2　空き家等利用する場合は 200 万円
※3　地域課題解決を目的とする場合のみ
※4　県が認定した地域課題解決に向けたプロジェクトに関する経費
※5　補助率は定額又は 1/2 で県と調整中
※6　限度額は３年度間の合計額

⑶　豊岡市高度 IT 起業家等集積支援事業補助金

IT 業界で顕著な事業実績を有する起業家等による事業所開設の支援として、県が兵庫高度 IT 起業家等集積支援事業補助金を交付する事業者に随伴補助を行う。

対象経費	補助率（※1）	限度額
①賃借料	1/4 以内	30 万円/年
②通信回線使用料		
③人件費	定額	500 万円/年
④建物改修費	1/4 以内	25 万円（※2）
⑤事務機器取得費		25 万円

期間　①②③３年間（36 カ月）、④⑤開設時１回
※1　県の補助金と合わせた補助率は 1/2 以内
※2　空き家等利用し、かつ、補助対象経費が 100 万円以上の場合に限り 75 万円

２　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

12,450 千円

⑴　オンライン方式による IT 企業誘致活動（事務費等）1,220 千円
（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

⑵　IT 関連事業所開設支援補助金　6,880 千円

⑶　豊岡市高度 IT 起業家等集積支援事業補助金　4,350 千円

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている		
№8　事業名　スマート農業推進		2021 年度予算額	565　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　ICT（情報技術）や IoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す。

《事業目的（趣旨）》

○　コウノトリ育む農法の品質向上のため、水田センサーによる水位、水温及び地温のセンシングデータを活用し、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。

1　事業内容

2018、2019 年度に、水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを使用し、コウノトリ育む農法（無農薬）の省力化実証事業を行った。

この水田センサーを協力農家、新規就農者及び関係機関に活用いただき、特に出穂前後の水管理を可視化して、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。

2　事業期間

2020 年度～2022 年度

3　事業主体

豊岡市、農業者等

４　予算額

565 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	2021 年度予算額	82,077　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
9	内発型産業育成 （ビジネス相談窓口、創業支援等）	42,404　千円	継続
10	政策アドバイザー設置	4,241　千円	継続
11	豊岡スマートコミュニティ推進機構	1,517　千円	拡大
12	新規就農総合支援	24,141　千円	継続
13	豊岡農業スクール	9,774　千円	継続
合計		82,077　千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.9　事業名	内発型産業育成 （ビジネス相談窓口、創業支援等）		2021 年度予算額	42,404　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する若者や女性が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的（趣旨）》

○　成長を目指す企業、創業に取り組む若者や女性を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1　事業内容

(1)　ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA（イッポ トヨオカ）」（注）の運営

市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。

ア　ビジネスに関する総合相談

事業の立ち上げや高度化に必要な助言、事業計画策定の支援などを行う。

イ　外部専門家アドバイザー派遣相談

ニッチ分野や企業会計・財務等の専門性の高い相談を対象に、外部専門家を派遣した相談を行う。

ウ　ビジネス勉強会・利用促進セミナーの開催

創業検討者や市内企業等を対象にしたビジネス勉強会や「IPPO TOYOOKA」利用促進のためのセミナーを開催する。

（注）じばさん TAJIMA ビル５階「FLAP TOYOOKA（フラップ トヨオカ）」内に、月に４日開設（利用は事前予約制）。
但し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、テレビ会議システム等を用いたオンラインで事業を実施する場合がある。

⑵　補助制度

ア　豊岡市創業支援補助金

創業・事業承継に取り組む若者・女性のスタートアップに要する経費を支援する。

イ　豊岡市ステップアップ支援補助金

具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。

制度	対象	商工団体の伴走支援(※)	補助率及び補助額	対象経費
豊岡市創業支援補助金	女性・若者 ※若者：45歳以下	必須	2分の1以内 上限100万円	設備導入費、事業所開設費、広告宣伝費　等
豊岡市ステップアップ支援補助金	市内事業者		2分の1以内 下限50万円 上限200万円	設備導入費、事業所改修費、展示会出展費、WEB改修費　等

※豊岡商工会議所又は豊岡市商工会による事業者への継続的な助言、指導等の支援

⑶　豊岡市創業支援等事業計画に基づく事業

ア　市内商工団体・金融機関等との連絡会議の開催

イ　コワーキングスペース「FLAP TOYOOKA」を活用した創業セミナーの開催　等

２　事業期間

2019年度～2021年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

42,404千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の1/2）
（ふるさと納税：31,000千円）

担当課名【環境経済課】（内線2301）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.10　事業名　政策アドバイザー設置		2021 年度 予算額	4,241 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　地域の課題を解決するための新たな事業や仕事にチャレンジする人が増え、その取組みが継続的に行われている。

○　統一・調和したデザインにより、まちの景観がつくられている。

○　データを活用し、マーケティングの視点を取り入れた事業が継続的に行われている。

《事業目的（趣旨）》

○　政策・施策を実施するにあたり、市政における重要課題など政策的事項又は専門的事項について、専門的知識や技術、経験などを有する方から指導、助言を受けるため、豊岡市政策アドバイザーを設置する。

１　事業内容

本市の政策・施策を推進するにあたり、具体的な課題に対し専門的立場から助言等を行う政策アドバイザーを３名設置する。

＜助言を求める分野＞

⑴　ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスに関する分野

⑵　まちづくりにおけるデザイン全般に関する分野

⑶　データ分析やマーケティング全般に関する分野

２　事業期間

2018 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

4,241 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.11　事業名	豊岡スマートコミュニティ推進機構	2021 年度予算額	1,517　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

○　豊岡市の掲げるビジョンである「いのちへの共感に満ちたまちづくり」、「小さな世界都市」及び「深さをもった演劇のまちづくり」の実現を図るために、適切な技術（ICT、IoT、データ活用等）を用いて生活の心地良さを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築する。

そして、住む人、訪れる人にとっての豊岡市の価値を高め、地域の持続可能性を向上させることを目的とする。

1　事業内容

「スマートコミュニティ」の実現に向け、テーマを設け、課題解決を図るための取組みを進めていく。

【主なテーマ　(※2021 年 1 月現在)】

① コミュニティ　② 区長・市役所 DX (デジタル・トランスフォーメーション)

② 公共交通　④ 防災・環境・エネルギー　⑤福祉モビリティ

2　事業期間

2020 年度～

3　事業主体

豊岡スマートコミュニティ推進機構

（設 立 日）　2020 年 5 月 7 日

（設立団体）　豊岡市、トヨタ・モビリティ基金

4　予算額

1,517 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2)

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.12　事業名　新規就農総合支援		2021 年度 予算額	24,141 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新規就農者及び農業後継者が確保でき、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

≪事業目的（趣旨）≫

○　豊岡で農業を頑張る若者に対し、農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生へは家賃補助を行うことにより負担を軽減し、地方創生の柱である若者の定住を推進する。

　また、国の農業次世代人材投資事業を活用し、経営が不安定な就農直後（５年以内）の所得を確保する資金を交付し、若者の農業への定着を図る。

１　事業内容

⑴　若手農家支援事業

ア　農業用機械等整備費助成事業

　農業用機械等の導入経費の 1/2 以内(上限 3,000 千円)を補助

イ　住居費助成事業

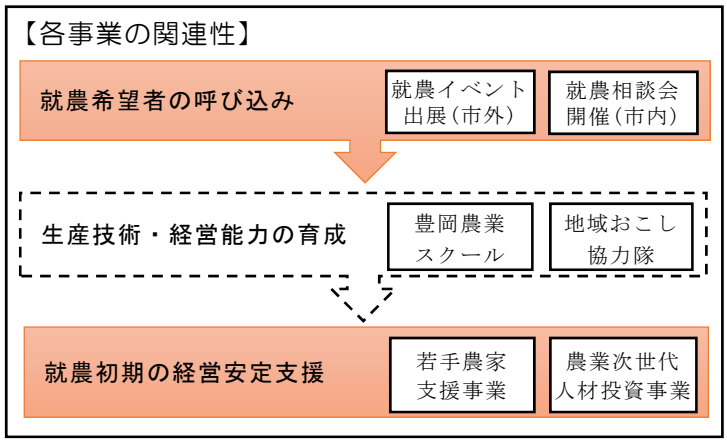
　市外から転入し、市内の賃貸住宅に居住する新規就農者・豊岡農業スクール生に対し、家賃の 1/2 以内(上限 20 千円/月)を補助

⑵　農業次世代人材投資事業

　国制度を活用し、１年あたり最高 1,500 千円/人の資金を最長５年間交付する。

⑶　就農イベント出展事業

　就農希望者対象のイベントで豊岡の農業の魅力を発信し、環境創造型農業に関心を持つ有望な人材を呼び込む。



２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

24,141 千円

⑴　若手農家支援事業・就農イベント出展事業　3,891 千円(ふるさと納税:3,500 千円)

⑵　農業次世代人材投資事業　20,250 千円(新規就農総合支援事業費補助金　補助率:10/10)

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.13　事業名　豊岡農業スクール		2021 年度 予算額	9,774 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新規就農者及び農業後継者が確保でき、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

○　本市の農業は、新規就農者及び農業後継者の確保・育成が喫緊の課題であり、明日の農業の担い手を養成するため、就農意欲の高い若者に対して、円滑に就農するために必要な生産技術力、経営管理能力及び環境創造型農業等を「豊岡農業スクール」で習得させ、農業を持続可能な産業に結び付ける。

1　事業内容

市が就農意欲のある研修生（年３人）の募集と、事前登録された認定農業者への研修生（新規３人＋在学生２人）の派遣研修（最長３年）事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。

【参考】

現在まで 22 人が入校(2021 年１月現在)

内 16 人が同スクールを卒業し、市内で自営就農・雇用就農した。

2　事業期間

2013 年度～

3　事業主体

豊岡市

環境創造型農業に取り組む、卒業生の圃場視察

（2020.8.17）

4　予算額

9,774 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：4,500 千円）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	2021 年度予算額	4,490　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
14	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランド PR 推進	4,490 千円	継続
重複	（No.8）スマート農業推進	（565 千円）	―
重複	（No.29）コウノトリ育むお米ブランド化推進	（4,762 千円）	―
合計		4,490 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている		
No.14　事業名	豊岡鞄・豊岡財布技術向上支援、豊岡鞄ブランド PR 推進	2021 年度予算額	4,490　千円	新規 [継続] 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　鞄産業を強化することによって、豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

○　鞄産業の技術深化を図るため、財布の生産能力を習得する人材育成事業を行い、産業の新たな柱としての定着を目指す。

○　「豊岡鞄」ブランドの価値を向上させる取り組みを支援する。特に、今年開催される東京オリンピックを見据え、国内外へ向けた情報発信力を強化する。

1　事業内容

⑴　豊岡財布生産能力育成事業

豊岡まちづくり株式会社が実施する豊岡財布スクール「アルチザン財布専科」事業に対して補助を行う。財布専科では３か月間（約 520 時間）の講座を年間２回開講する。生徒は１講座あたり 10 人までとし、きめ細やかな指導により、型紙の作成から縫製まで一人で財布が作れる職人の育成を目指す。

⑵　豊岡鞄ブランド PR 推進事業

兵庫県鞄工業組合が「豊岡鞄」ブランドの価値向上のために実施する事業に対して補助を行う。

ア　「豊岡鞄」東京展示会の開催（年２回、KITTE 丸の内店地下１階）
イ　KITTE 丸の内店を起点とした豊岡鞄のＰＲ戦略・販売強化事業を支援
ウ　戦略的な WEB 広告の実施、豊岡鞄オフィシャルサイト改修等を支援

２　事業期間

⑴　豊岡財布生産能力育成事業
　　2020 年度～2021 年度
⑵　豊岡鞄ブランド PR 推進事業
　　2006 年度～

３　事業主体

豊岡まちづくり株式会社、兵庫県鞄工業組合、豊岡市

４　予算額

4,490 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：2,000 千円）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	2021 年度予算額	573,745　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
15	多文化共生推進	2,258　千円	拡大
16	子育て支援総合拠点等整備	571,487　千円	新規
重複	（№5）Ｉターン推進 （ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）	(5,994　千円)	―
重複	（№35）アーティスト・クリエーター移住等促進	(298 千円)	―
合計		573,745 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
№15　事業名　多文化共生推進			2021 年度予算額	2,258　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　外国人住民がまちの一員としていきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

○　外国人住民が年々増加傾向にある中、外国人住民の現状把握と課題を明らかにし、外国人も地域や職場の一員として活躍する、多様性を受け入れ支え合うまちづくりを推進する。

1　事業内容

⑴　外国人住民に関する調査研究（神戸大学との共同研究）

ア　共同研究チームによるヒアリング調査等の実施

外国にルーツを持つ子ども等の教育・生活支援、日本語学校等について、ヒアリング調査を実施するとともに、他地域の先進事例を研究する。

イ　多文化共生推進プランの策定

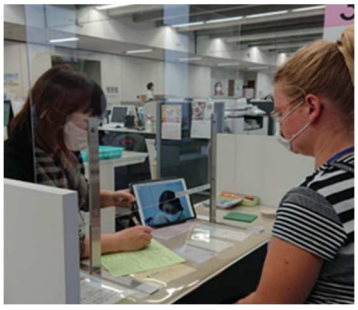
調査結果を踏まえて、多文化共生推進プランを策定する。

⑵　行政情報・生活情報の多言語化の推進　【拡大】

ア　多言語映像通訳と多言語音声翻訳アプリの導入

市役所の窓口等で ICT を活用した映像通訳、翻訳アプリを導入し、多言語による情報提供や相談対応を図る。

イ　行政情報等の多言語化（やさしい日本語を含む）の実施
　　各種申請書類、相談窓口等の情報を多言語に翻訳して提供する。
ウ　市の事業での通訳業務（委託）
　　妊婦健診・乳幼児健診・こども支援センター等に通訳を派遣する。



２　事業期間
2019 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
2,258 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：1,000 千円）

担当課名【政策調整課】（内線 2081）

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
No.16　事業名　**子育て支援総合拠点等整備**		2021 年度予算額	571,487　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　子どもや女性、若者、高齢者、外国人、障害者等、お互いの存在を当たり前のこととして大らかに受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを目指す。

《事業目的（趣旨）》
○　子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。

１　事業内容
アイティ４階に子育て支援を始めとした次の機能を整備する。
⑴　子どもたちが元気に遊ぶ場（キッズランド）
⑵　子育てを応援する場
　ア　子育て総合センター
　イ　一時預かり施設
⑶　女性の活躍を後押しする場
⑷　多文化共生を進める場
⑸　賑わいと新たな交流を創出する場
⑹　高齢者の生きがいを創造する場（※2020 年度事業化）

2　事業期間

2021 年度

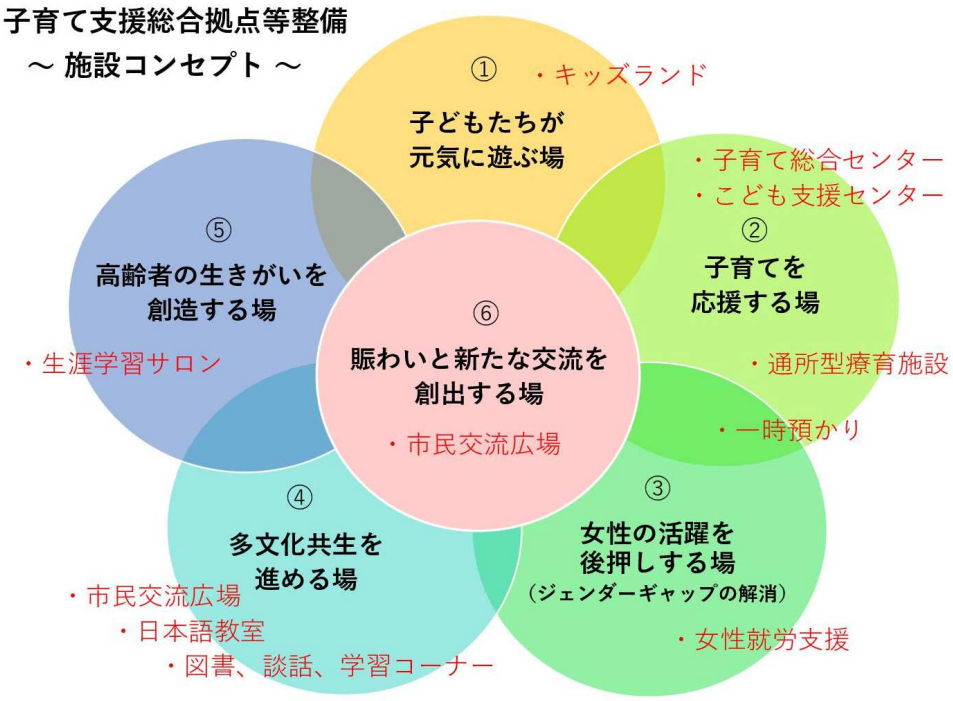
3　事業主体

豊岡市

4　予算額

571,487 千円（地方創生拠点整備交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：45,196 千円）

⑴　フロア取得　274,597 千円
⑵　拠点整備　273,382 千円
⑶　その他　23,508 千円



担当課名【こども育成課】（内線 2553）

具体的手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	2021 年度予算額	8,373　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
17	ジェンダーギャップ解消推進	6,495 千円	拡大
18	子育て広場管理	198 千円	継続
19	ファミリーサポートセンター	1,680 千円	継続
合計		8,373 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
№17　事業名　ジェンダーギャップ解消推進		2021 年度予算額	6,495　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

○　「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021 年３月策定予定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

１　事業内容

⑴　戦略の進行管理とジェンダーギャップ解消に関する条例化の検討等　＜新規＞

ア　アドバイザーの設置

イ　戦略会議の開催（2021 年７月～９月）（予定）

※条例化の検討も兼ねる。

⑵　市民の理解拡大と浸透に向けた戦略説明会、ワークショップの実施

ア　地域コミュニティ組織（多世代、男女で、地域の課題解決に取り組む。）

イ　女性（ジェンダーギャップによる課題を洗い出し、解決策を考える。）

ウ　市職員（施策にジェンダー視点を取り入れる。職場、家庭、地域での実践。）

⑶　ジェンダーギャップの解消について議論等を行う場として「女性会議」の設置を検討＜新規＞

多様な立場の女性が集まって、豊岡の未来を話し合い行動する「女性会議」の設置を検討

⑷　ジェンダーギャップに関する調査の実施　＜新規＞

ア　子育て世帯における男女の家事・育児時間に関する調査

市内の学校園を通じて調査を行い、子育て世帯の男女の家事・育児時間を可視化し、市民が家庭内での役割分担のあり方を考えるきっかけとする。

イ　ひとり親家庭意識調査

市内の児童扶養手当受給資格者を対象に調査を行い、特に、コロナ禍におけるシングルマザーの生活実態及び生活課題を把握し、有効な施策を検討する。

２　事業期間

2019 年度～2030 年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

6,495 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：3,000 千円）

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.18　事業名　子育て広場管理		2021 年度 予算額	198 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　小さな子も安心して遊べる子育て広場がまちの中心部にあり、親子が訪れている。子育て世代を身近に感じることで、市民の応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

○　子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

１　事業内容

各地域の「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、豊岡地域を除く５か所の子育て広場の除草、施肥等の維持管理を行う。

また、「子育て女性活動団体へのイベント開催経費補助事業」の開催指定場所にするなど、子育て世代の活用を促進する。

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

198 千円

たんとう子育て広場で遊ぶ子ども

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.19　事業名　ファミリーサポートセンター		2021 年度 予算額	1,680　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

○　ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。

　市が事務局となり、保育施設等への送迎や一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1　事業内容

⑴　会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。

⑵　会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等で事業の PR を行うとともに、更なる会員獲得のため、2021 年度も継続して交流事業を実施する。

※2017 年 4 月にセンター設立後、同年 7 月から相互援助活動を開始している。
　会員数は 263 人（2020 年 12 月 31 日現在）

2　事業期間

2017 年度～

3　事業主体

豊岡市

送迎時の様子

4　予算額

1,680 千円（国補助金　補助率：基準額の 1/3）
　　（県補助金　補助率：基準額の 1/3）

担当課名【こども育成課】（内線：2531）

主要手段 03　いきいきと暮らす女性が増えている

具体的手　段	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	2021 年度予算額	ー　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
重複	（No.17）ジェンダーギャップ解消推進	（6,495 千円）	ー
重複	（No.18）子育て広場管理	（198 千円）	ー
合計		ー 千円	

※重複は合計から除く

具体的手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	2021 年度予算額	12,885　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
20	ワークイノベーション推進	8,310 千円	継続
21	子育て中の女性の就労促進	4,145 千円	拡大
22	子育てママの活躍機会促進	430 千円	継続
重複	（No.16）子育て支援総合拠点等整備	（571,487 千円）	―
合計		12,885 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

戦略・手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.20　事業名　ワークイノベーション推進		2021 年度予算額	8,310　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。

　そのことを可視化することによって、若い女性の UI ターンの増加や定着につなげる。

1　事業内容

⑴　市民の理解拡大

　まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

⑵　経営者、人事担当者、管理職の意識改革、行動改革

ア　男性育休、女性活躍推進、無意識の偏見の理解、マネジメントノウハウなどのセミナーを開催する。

イ　従業員の現状を認識するための意識調査を実施する。

⑶　女性従業員のキャリア形成支援

ア　初めての受講者向けに、キャリアデザインセミナー、ありたい姿を考えるワークショップなどを開催する。

イ　過去の受講者向けに、ロジカルシンキング、コーチングなどのセミナーを開催する。

⑷　先進事業所の可視化と他の事業所への波及

女性の働きやすさ、働きがいが高い水準に達している事業所の表彰を行う。

２　事業期間

2018 年度～2027 年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

8,310 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：3,000 千円）

市内事業所の女性従業員向けセミナーの様子(2020.9.25)

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

戦略・手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
№21　事業名　子育て中の女性の就労促進		2021 年度 予算額	4,145　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　出産や育児などを機に離職し、現在働きたいが働けていない子育て中の女性に対しては、2018 年度からプチ勤務（少日数・短時間勤務）などで再就職のハードルを下げて就労促進に取り組んできた。（実績：2018～2019 年度の２年間で市内 16 事業所に 39 名の子育て中の女性が就職）

○　コロナ禍で DX（デジタル・トランスフォーメーション）がさらに進展する社会を見据えて、子育て中の女性を対象にデジタルマーティング人材を育成するとともに、出口戦略（就労先などの確保）にもあわせて取り組み、女性に対して「子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く」ロールモデルを示す。

１　事業内容

⑴　子育て中の女性対象のデジタルマーケティング人材育成　＜新規＞

実績を持つ IT 人材育成の専門家による５カ月間の講義（対面とオンライン）と２カ月間の関連企業へのインターンシップ、さらに必要に応じてキャリアデザインのアドバイスを行いながら、ロールモデルとなるようなデジタルマーケティング人材（10 名程度）を育成する。

※市の負担（人材育成の指導料など）、受講者の負担（教材費など）

⑵　デジタルマーケティング人材の出口戦略（就労先などの確保）　＜新規＞

育成したデジタルマーケティング人材の子育て中の女性の就労先の確保などについてもハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議など関係団体と連携しながら取り組む。

２　事業期間

2018 年度～2022 年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

4,145 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：2,000 千円）

担当課名【ワークイノベーション推進室】（内線 2094）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.22　事業名　子育てママの活躍機会促進		2021 年度 予算額	430 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　子育て中の女性が地域でいきいきと活躍している。

《事業目的（趣旨）》
○　子育て中の女性の社会的な活躍機会を広げる。
　また、女性が活躍している姿を見てもらうことで、女性のみならず、男性にも子育て期が社会的プラスのキャリアになるという意識を醸成する。

1　事業内容

⑴　「ママハタ」の活動の場を創出
　「NPO 法人ママの働き方応援隊(通称：ママハタ)」と連携して、学校や地区で「赤ちゃん先生クラス」を開催する。
　また、地域や企業への認知や理解を進めるため、市内のイベントなどにスタッフとして出向く。

⑵　子育て女性活動団体のイベント開催補助
　子育て中の女性で構成する活動団体が、子育て世代ならだれでも参加できるイベントを開催する際、その経費の一部を補助し、まちを挙げた子育て応援の機運を高める。
　＜補助内容＞上限 50 千円/件、補助率 10/10

ママハタの派遣事業

2　事業期間

⑴　「ママハタ」の派遣　　2018 年度～
⑵　イベント開催経費の補助　　2019 年度～

3　事業主体

⑴　「ママハタ」の派遣
　豊岡市
⑵　イベント開催経費の補助
　子育て中の女性の活動団体

「ハグハグフェスタ豊岡」

4　予算額

430 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	2021 年度予算額	198,460　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
23	城崎温泉街交通環境改善	253　千円	継続
24	観光事業 （ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	59,613　千円	拡大
25	観光まちづくり推進 （専門人材配置）	21,140　千円	拡大
26	インバウンド誘客推進	28,672　千円	継続
27	豊岡演劇祭協同開催	54,344　千円	継続
28	観光データ基盤構築活用	34,438　千円	新規
合計		198,460　千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
№23　事業名　城崎温泉街交通環境改善			2021 年度予算額	253　千円	新規 [継続] 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる交通環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

○　城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。

この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1　事業内容

城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動を行う。

2　事業期間

2015 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

253 千円

担当課名【建設課】（内線 2422）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.24　事業名	観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）	2021 年度予算額	59,613 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡の魅力がテレビ・雑誌・WEB サイト等のメディアに取り上げられること（外部視点による豊岡の魅力の高い評価）で、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。

○　客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。

○　働き方改革やウィズコロナ社会における需要にも対応し、より多くの“豊岡ファン”が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

○　国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。

○　観光に関する様々な客観的データを取得・分析し、その結果をもとに施策を定量的に検証することで、観光による地域への経済波及効果を高める。

○　無料で利用できる公衆無線 LAN 環境の提供、市内各地域の多様な特徴を活かしたワーケーション等の拠点の展開に向けた環境整備への支援、テレワーク拠点整備など、受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”創出する。

○　ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据え、国内誘客促進強化のための情報発信戦略等に基づく大交流ビジョンの実現に向けた国内誘客促進を図る。

1　事業内容

⑴　メディア・旅行エージェント招聘事業【3,000 千円】

⑵　観光施策に係る評価指標データ収集業務【4,112 千円】

ア　来訪者アンケートデータ収集分析業務

イ　携帯電話の位置情報を活用した来訪者データ調査分析業務

⑶　「TOYOOKA_CITY_Free_Wi-Fi」公衆無線 LAN 運用業務【608 千円】

⑷　ワーケーション環境整備事業【10,000 千円】＜新規＞
　　無線 LAN、ﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ整備、備品購入補助（補助率 1/2 以内、上限 1,000 千円）
⑸　テレワーク拠点整備事業【37,000 千円】＜新規＞
　　ｺﾜｰｷﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽの設置など城崎国際ｱｰﾄｾﾝﾀｰを活用したテレワーク拠点整備
⑹　国内向けホームページ運用事業【3,289 千円】
⑺　国内誘客促進事業【1,604 千円】

２　事業期間
2015 年度～

３　事業主体
豊岡市

城崎国際アートセンター(エントランスホール)
テレワーク拠点完成イメージ図

４　予算額
59,613 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：4,000 千円）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.25　事業名	観光まちづくり推進 （専門人材配置）	2021 年度 予算額	21,140 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に市民や幅広い産業、関係団体が相互に連携しながら「大交流モデル」を推進することで「大交流ビジョン」が実現している。

《事業目的（趣旨）》
○　専門的な知識や視野を持った経営人材やマーケティングの専門家を配置し、一般社団法人豊岡観光イノベーションの事業展開を支援する。
　また、一般社団法人豊岡観光イノベーションが組織強化と事業の継続性を目的に配置するプロパー人材の配置を支援する。

1　事業内容

企業人派遣、データアナリスト、プロパー人材の配置

経営人材やデータ収集・分析の専門家等の配置による豊岡観光イノベーションの事業展開の支援

⑴　企業人派遣　２名（派遣元：神姫バス株式会社）＜１名増員＞

⑵　データアナリストの配置　１名

⑶　プロパー人材の配置　２名

2　事業期間

2015 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

21,140 千円

（企業人派遣は、総務省「地域おこし企業人交流プログラム」を活用。市負担分は特別交付税措置。）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
№26　事業名　インバウンド誘客推進		2021 年度予算額	28,672　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　対象市場における豊岡の認知度が高まり、外国人観光客が豊岡の観光情報を容易かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、本市を訪れる外国人観光客が増加し、来訪者の満足度が向上している。

《事業目的（趣旨）》

○　対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、外国人観光客に対して豊岡の魅力を的確に伝え、新型コロナウイルス感染症拡大終息による訪日観光回復時における本市への誘客につなげる。

1　事業内容

世界的な新型コロナウイルス感染症感染拡大による海外渡航制限の現状を鑑み、海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を基本とした事業を実施する。特に、各国の感染状況により、比較的早期の訪日観光回復が見込まれるアジア市場(特に台湾)を重点としたプロモーションを行う。

⑴　WEB 広告運用業務【2,359 千円】
　　本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」における WEB 広告配信
⑵　観光レップ業務【6,170 千円】
　　現地のセールスレップ（代理店：欧米豪、台湾）によるメディア等への情報発信
⑶　地域の観光資源を活用したプロモーション事業【571 千円】
　　WEB 広告配信（オーストラリア）※Visit Northern Kansai 実行委員会事業
⑷　海外プロモーション事業【4,789 千円】
　ア　本市外国語版ホームページの繁体字化、WEB 広告配信
　イ　現地のセールスレップ（代理店：タイ）によるメディア等への情報発信
　ウ　せとうち DMO、海の京都 DMO 等と連携したプロモーションの実施
⑸　豊岡市外国語版ホームページに関する業務【7,216 千円】
　　保守管理、運用、コンテンツ制作
⑹　海外向け豊岡市総合 WEB サイト管理運営業務【381 千円】
　　コウノトリ、豊岡鞄を含む海外向け本市総合 WEB サイトの管理運営
⑺　インフォメーションカウンター運営委託業務【3,506 千円】
　　城崎温泉ツーリストインフォメーション「SOZORO」の活用による外国人観光客向けのインフォメーション機能強化及び着地型ツアーの販売促進
⑻　外国人スタッフ配置事業（JET プログラム）【3,680 千円】
　　インバウンド関連業務にあたる CIR（国際交流員）の配置

２　事業期間

2013 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

28,672 円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）
　　（ふるさと納税：15,000 千円）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
№27　事業名　豊岡演劇祭協同開催		2021 年度 予算額	54,344　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡演劇祭が演ずる者、観る者のいずれにとっても価値のある場所となり、世界中から人々が訪れている。

《事業目的（趣旨）》

○　豊岡演劇祭は、フリンジ型の演劇祭として５年でアジア№１、10 年で世界有数の演劇祭を目指して開催する。このことにより、豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。

１　事業内容

⑴　豊岡演劇祭 2021 の開催支援

ア　日程　2021 年９月（２週末）

イ　会場　城崎国際アートセンター、出石永楽館、江原河畔劇場、豊岡市民会館、豊岡市民プラザ、玄武洞公園をプログラム会場として検討中（フリンジプログラム会場については、竹野地域及び但東地域を含む市内各所を検討中）

※養父市及び香美町での公演も検討・調整中

ウ　演目　プログラム、フリンジプログラム

⑵　豊岡演劇祭実行委員会の運営

総会の開催、事務局業務

２　事業期間

2019 年度～

３　事業主体

豊岡演劇祭実行委員会

４　予算額

54,344 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（企業版ふるさと納税：17,000 千円）

（ふるさと納税：10,000 千円）

⑴　豊岡演劇祭協同開催事業負担金　54,000 千円

⑵　事務的経費　344 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.28　事業名　観光データ基盤構築活用		2021 年度 予算額	34,438　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　新しい技術の活用を通して、観光の価値や資源の魅力がますます高まっている。

《事業目的（趣旨）》

○　デジタル技術の活用により、観光データ等をすばやく把握することで、観光事業者の費用削減、利益向上を実現する。

　来訪者の利便性や満足度を向上させ、よりよいサービスの提供を通じて、地域全体の発展につなげる。

1　事業内容

⑴　観光データのすばやい収集と把握

　アナログな方法で入手していた地域全体の宿泊・予約情報等の観光データを、システムを介してリアルタイムに収集する仕組みと体制を構築し、地域の状況を適切な時期に、的確に理解したうえで対応できるようにする。

⑵　データの分析と活用

　市、（一社）豊岡観光イノベーション、関係団体等で（仮称）観光 DX 推進協議会を組織し、入手したデータを事務局を担う（一社）豊岡観光イノベーションが分析・管理し、観光事業者の経営改善に役立て、利益拡大を実現する。

⑶　デジタル技術の応用による新サービスの展開

　新しいサービスを開発、工夫することにより、来訪者の満足度を向上させ、さらに選ばれる観光地を地域全体で目指す。

2　事業期間

2021 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

34,438 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

⑴　データの収集・分析・共有、システム開発　29,488 千円

⑵　観光 DX 推進協議会事務局業務　4,950 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	2021 年度予算額	4,762　千円

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
29	コウノトリ育むお米ブランド化推進	4,762 千円	継続
重複	（No.34）アーティスト・イン・レジデンス	（17,095 千円）	―
合　　計		4,762 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている			
No.29　事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進		2021 年度予算額	4,762　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　環境創造型農業により、農村に子どもたちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

○　環境創造型農業の柱である「コウノトリ育むお米」の真のブランド化を図り、市場経済に認められた持続可能な農業を振興する。

1　事業内容

消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、ＪＡたじま等と協働し、国内外で情報発信等を展開する。

⑴　国内

既存取引先と協力し、情報発信等を展開する。

⑵　海外

アメリカで開催される日本食エキスポ等に出展するとともに、オーストラリア、及び香港の食品販売店等で販売プロモーションを展開する。

２　事業期間

2012 年度～

３　事業主体

豊岡市

日本食レストランエキスポ(アメリカ)の様子

４　予算額

4,762 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象事業費の 1/2）

（ふるさと納税：2,000 千円）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	2021 年度予算額	146,116　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
30	出石永楽館歌舞伎開催	86,559　千円	継続
31	豊岡アートシーズン 2021	12,376　千円	継続
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催（豊岡アートシーズン 2021 参加）	7,018　千円	継続
33	城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2021 参加等）	18,179　千円	継続
34	アーティスト・イン・レジデンス	17,095　千円	継続
35	アーティスト・クリエーター移住等促進	298　千円	継続
36	演劇のまちづくり推進	4,591　千円	拡大
重複	（№15）多文化共生推進	(2,258　千円)	―
重複	（№27）豊岡演劇祭協同開催	(54,344　千円)	―
重複	（№37）専門職大学連携推進	(809,086　千円)	―
合計		146,116　千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.30　事業名　出石永楽館歌舞伎開催		2021 年度 予算額	86,559　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　多くの歌舞伎ファンが、恒例の行事として永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。

○　わが町の歌舞伎公演として、多くの市民が公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

○　2008 年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を発揮できる活用策として、歌舞伎公演を開催している。引き続き文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として『第 13 回永楽館歌舞伎』を開催する。

1　事業内容

⑴　公演期間　日程調整中　7 日間（予定）
⑵　公演回数　13 回公演（予定）
⑶　会　　場　豊岡市立出石永楽館
⑷　内　　容　片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演
⑸　料　　金　一般 12,000 円、学生 3,000 円（全席指定席）
※学生料金の対象者は、市内在住または通学する小・中学生、高校生。

2　事業期間

2008 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

86,559 千円（ふるさと納税：29,000 千円）

2019 年 11 月　第 12 回公演の様子

担当課名【出石振興局　地域振興課】（内線 5607）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.31　事業名　豊岡アートシーズン2021		2021年度予算額	12,376　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
○　世界的な作品が豊岡で創作、発信されていることで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》
○　市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している文化芸術事業を「豊岡アートシーズン」という枠組みで一体的に広報し、「文化芸術のまち豊岡」のイメージを市内外に発信し、豊岡の魅力と豊岡に暮らすことの価値を高める。

1　事業内容
市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2021（豊岡アートシーズン2021）」として展開し、市の文化芸術の魅力を内外に向け発信する。

2　事業期間
2016年度～

3　事業主体
豊岡市

4　予算額
12,376千円（文化芸術振興費補助金　補助率：補助対象経費の1/2以内）
（ふるさと納税：8,000千円）
＜内訳＞豊岡アートシーズン2021広報等　2,367千円
共通イベント「とよおかアート縁日」　612千円
出石永楽館狂言鑑賞教室　2,090千円
青年団子ども参加型演劇『サンタクロース会議』7,307千円

【参考】
＜Toyooka Art Season 2021の主要プログラム＞　※日程は変更の可能性あり

No.	プログラム	開催日程	開催場所	所管課
①	とよおかアート縁日	7月23日	豊岡市民プラザ	文化振興課
②	出石永楽館狂言鑑賞教室	9月下旬	出石永楽館	文化振興課
③	青年団子ども参加型演劇『サンタクロース会議』	11月中下旬	豊岡市民プラザほか	文化振興課
④	音楽レクチャー	4月～2022年3月	豊岡市民会館	文化振興課

⑤	おでかけ訪問コンサート	5月~2022年3月	市内各小学校	文化振興課
⑥	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭　第7回おんぷの祭典	６月１～６日	市 内 各 所	生涯学習課
⑦	劇の学校	５月～11月	豊岡市民プラザ	生涯学習課
⑧	輝くシニア☆読んで演じるドラマリーディング講座	６月	豊岡市民プラザ	生涯学習課
⑨	市民演劇プロジェクト(OMS戯曲賞作家×内藤裕敬×市民=とよおか発新作演劇)	９月５・６日	豊岡市民プラザ	生涯学習課
⑩	続　音で観るダンスのワークインプログレス(仮)	2022年3月12・13日	城崎国際アートセンター	大交流課

※豊岡アートシーズン2021主要プログラム全体の予算額　　34,149千円
＜内訳＞　〇数字は上表のプログラムNo.

文化振興課	文化芸術創造交流事業（広報等、①～③）	12,376千円
	市民会館自主事業（④・⑤）	6,110千円
生涯学習課	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業（⑥）	7,018千円
	市民プラザ事業（⑦～⑨）	5,421千円
大交流課	城崎国際アートセンター事業（⑩）	3,224千円

担当課名【文化振興課】（内線2771）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.32　事業名	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催 （豊岡アートシーズン 2021 参加）	2021 年度 予算額	7,018　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　子どもたちのふるさとや音楽への愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

○　子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながらにして世界とつながることが出来る。そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもたちを育てるとともに、まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。

１　事業内容

2020 年６月に開催予定だった『第７回おんぷの祭典』が中止となったことを受け、2021 年度も同名称で６月１日（火）～６日（日）の６日間、音楽祭を開催する。

2020 年９月～12 月に実施した感染症対策をしながらのコンサートの成功実績を踏まえ、引続き感染症対策を考えながら企画・実施する。

⑴　子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ、未就学児親子向け）
⑵　学校訪問コンサート　９小学校（予定）

⑶　街角コンサート　６か所（城崎・竹野・日高・出石・但東・但馬空港）
⑷　稽古堂イブニングコンサート（豊岡稽古堂、５日間連続夕方開催）
⑸　グランドフェスティバル（豊岡市民会館、最終日のホールコンサート）
※内容は調整中のため、変更になる可能性がある。

空港ピアノお披露目コンサート(2020.11.23)

２　事業期間
2014 年度～2023 年度

３　事業主体
子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

４　予算額
7,018 千円
（文化芸術振興費補助金　補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

担当課名【生涯学習課】（内線 2741）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.33　事業名	城崎国際アートセンター運営・事業 （アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2021 参加等）	2021 年度 予算額	18,179　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》
○　城崎国際アートセンターの芸術面での新たな展開を目指し、新たな館長及び芸術監督を迎える。また、引き続き芸術文化の国際的戦略拠点として運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。

１　事業内容
⑴　芸術監督等の採用、アートマネジメント等業務の委託
次のスタッフを配置する。
ア　館長
イ　芸術監督
ウ　プログラムディレクター、アートコーディネーター　各１名（業務委託）

⑵　芸術文化情報発信事業
　WEB サイトの有効運用を進めるとともに、「アートセンター通信」のデザインを一新し更なる情報発信に努め、事業の周知と参加を呼びかける。
⑶　文化芸術創造交流事業　　＊豊岡アートシーズン 2021 参加事業
ア　プログラム　『続　音で観るダンスのワークインプログレス』（仮）
イ　月日、場所　2022 年３月、城崎国際アートセンター
ウ　内容　康本雅子（ダンサー）を迎え、音声ガイドを使って視覚障害者も鑑賞できるダンス作品を創作するプロジェクト

２　事業期間
2015 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
18,179 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（文化芸術振興費補助金　補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
№34　事業名	アーティスト・イン・レジデンス	2021 年度予算額	17,095 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》
○　選考によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

１　事業内容
⑴　2021 年度実施事業
ア　「アーティスト・イン・レジデンス　プログラム」募集・選考
　滞在アーティストの募集、選考委員会の開催し年間計画をまとめる。
イ　地域交流プログラム実施、舞台操作等レジデンス支援
　滞在期間中に地域住民等との交流活動の実施、滞在制作の支援を行う。

ウ　アーティスト・イン・レジデンス　プログラム事業 PR
　　滞在制作及び活動状況 PR 及びアーカイブ等のための冊子を作成する。
エ　アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業
　　海外のアーティスト・イン・レジデンス施設との芸術家等派遣及び招聘による交流を図る文化庁助成事業
⑵　2021 年度アーティスト・イン・レジデンス事業計画
ア　募集・応募件数、国数　　71 件、24 カ国
イ　選考件数、国数　　13 件、５か国

２　事業期間

2015 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

17,095 千円（アーティスト･イン･レジデンス国際文化交流促進事業　補助率:補助対象経費の 10/10）
（ふるさと納税：10,000 千円）

児玉北斗新作ダンス作品『Pure　Core』試演（©igaki photo studio）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.35　事業名	アーティスト・クリエーター移住等促進	2021 年度予算額	298 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

○　アーティスト・クリエーターの移住等により、

1　多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり

2　優れた文化芸術を創造し、人々が楽しむまちづくり

3　センスのいいまちづくり

を促し、「小さな世界都市－Local & Global City－」の実現に資する。

1　事業内容

アーティスト・クリエーターの移住支援

アーティスト・クリエーターが、豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供及び相談を受ける機会を設ける。

2　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

298 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
№36　事業名　演劇のまちづくり推進			2021 年度 予算額	4,591　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　社会や生活の様々な場面に演劇や演劇的なものの考え方などが染み込んだ「深さをもった演劇のまち」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

○　市民にとってアートが身近で親しみのある存在になる機会を提供していくとともに、「深さをもった演劇のまちづくり」を加速度的に推進していくための対外的な PR を推進していく。

1　事業内容

⑴　アーティスト認証制度の構築　＜新規＞

市独自の認証による大道芸を中心としたパフォーマンスのライセンスを交付し、アーティストが市内の民間施設も含めた屋外で自由に活動できる環境を整えるとともに、市民や観光客がアートに触れる機会を創出できるよう制度構築を進める。

⑵　深さをもった演劇のまちづくりの PR

「深さをもった演劇のまちづくり」を対外的に PR する。

また、豊岡のまちづくりに共感する企業を増やし、企業版ふるさと納税の獲得を目指す。

⑶　深さをもった演劇のまちづくりコーディネーターの配置

深さをもった演劇のまちづくりを推進していくため、まちづくりコーディネーターを配置する。

2　事業期間

2020 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

4,591 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）

（ふるさと納税：2,000 千円）

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	2021 年度予算額	809,086　千円

【対象事業】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
37	専門職大学連携推進	809,086 千円	新規
重複	（№27）豊岡演劇祭協同開催	（54,344 千円）	―
重複	（№40）高校生コミュニケーション教育等支援	（5,190 千円）	―
重複	（№42）英語教育推進	（33,434 千円）	―
合計		809,086 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
№37　事業名　専門職大学連携推進		2021 年度予算額	809,086　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　専門職大学で学ぶ若者と地域が一体となって地域課題解決のための地域連携を加速度的に進め、地域活性化の先進地として全国に波及している。

《事業目的（趣旨）》

○　但馬地域の若年層の転出抑制をはじめ、地域産業を担う高度な専門的職業人の育成や地元企業に就職する若者を増やすなど、地方創生の観点から大きな効果が期待される芸術文化観光専門職大学と連携を進めながら、地域の若者の定住のみならず、全国や海外から若者を呼び込み定着を図る。

1　事業内容

⑴　芸術文化観光専門職大学との地域連携構築業務

芸術文化観光専門職大学内に設置が予定されている、地域課題をイノベーションで解決するプラットフォーム機能を担う「地域リサーチ＆イノベーションセンター」と協働して、地域連携に係る各種施策を但馬全体で進める。

市内の高校生を対象としたコミュニケーション教育や、市民を対象とした公開講座などを予定している。

⑵　芸術文化観光専門職大学への寄附
　専門職大学の地域への貢献を高める取組みを支援するため、大学運営者に対し８億円を寄附する。専門職大学誘致の際に本市支援として表明していたもので、財源は但馬定住自立圏の特別交付税額を措置している。

２　事業期間
2021 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
809,086 千円
⑴　芸術文化観光専門職大学との地域連携構築業務　9,086 千円
（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：4,000 千円）
⑵　芸術文化観光専門職大学への寄附　800,000 千円

担当課名【大交流課】（内線 2321）

具体的手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	2021 年度予算額	3,281　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
38	ふるさと教育推進	2,881 千円	継続
39	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	400 千円	継続
重複	（№40）高校生コミュニケーション教育等支援	(5,190 千円)	―
合計		3,281 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
№38　事業名　ふるさと教育推進		2021 年度予算額	2,881　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

○　一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル＆グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1　事業内容

⑴　現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。

⑵　教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して作成した「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

⑶　但東中学校３年生が、修学旅行で東京交通会館において、豊岡市や但東町について PR する。

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

2,881 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）
（ふるさと納税：1,000 千円）

担当課名【こども教育課】（内線　2721 ）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
№39　事業名	おっとろっしゃ！とよおかのものづくり	2021 年度予算額	400　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元に誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

○　子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となりうることに対する市民の理解を促進する。

１　事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとろっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について補助（補助率 2/3）を行う。また、新型コロナウイルス感染症対策として密を避ける工夫が必要なため、一部オンラインでの実施についても支援する。（※）

⑴　「おっとろっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

ア　子ども向けのものづくり体験やおもしろ教室（オンライン開催併用）

イ　市内企業の製品・技術の紹介を行う企業展示　ほか

２　事業期間

2014 年度～

３　事業主体

豊岡市工業会

4　予算額

400 千円

『おっとろっしゃ！とよおかのものづくりⅥ』（2019.8.4-5※）の様子

※2020 年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2021 年度予算額	5,190　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
40	高校生コミュニケーション教育等支援	5,190 千円	継続
重複	(№38) ふるさと教育推進	(2,881 千円)	―
合計		5,190 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている			
№40　事業名	高校生コミュニケーション教育等支援		2021 年度予算額	5,190　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　豊岡が好きになり、地域をより良くしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　学校内での活動において、豊岡市の演劇を用いたまちづくりや地域資源について知る機会を設け、豊岡の可能性に気付いてもらう。

　また、学校外においても地域住民と関わりながら地域を活性化する企画に携わることで、当事者意識やシビックプライドを醸成する。

1　事業内容

⑴　学校内での活動支援

ア　ダンスを通じた地域探究活動

　地域探求により感じたことをダンスで表現する。近畿大学附属豊岡高校、大岡学園で実施予定。

イ　仕事や企業の探求活動

　仕事体験イベントや企業見学の実施。豊岡総合高校、出石高校、豊岡高校定時制で実施予定。

ウ　課題解決型地域探究活動

　地域課題解決に向けた総合学習「未来からの挑戦状」や「豊高アカデミア」を豊岡高校で実施予定。

⑵　学校外での活動支援

ア　高校生キャリア塾等の活動支援

但馬夢テーブル委員会（事務局：兵庫県但馬県民局）が高校生を対象にしたキャリア塾を開催。これからの社会が求める生きる力や知識の習得を目的としてセミナーやワークショップ等を定期的に実施。この中で、２回程度、まちづくり企画等を実施する。

イ　音楽を通じた地域活性化事業

ミュージシャンと高校生との交流により、地域を活性化させる活動を行う。

音楽コンテンツの制作に関わるプロたちの指導を受け、主体的に企画に携わることにより、音楽を通じて豊岡の魅力を感じ、自分の手で地域を発信する。

２　事業期間

2017 年度～2021 年度

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

5,190 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）

ダンスを通じた地域探求活動
（近大豊岡校の高校生が地域について学び、ダンスで表現）

音楽を通じた地域活性化事業
（制作物デザインについて企画会社と市内高校生がオンラインミーティング）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2021 年度予算額	43,730　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
41	コミュニケーション教育推進	851 千円	継続
42	英語教育推進	33,434 千円	継続
43	豊岡の未来を創る高校生支援	2,600 千円	継続
44	非認知能力向上対策	2,603 千円	継続
45	英語遊び保育推進	4,242 千円	継続
合計		43,730 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№41　事業名　コミュニケーション教育推進		2021 年度予算額	851　千円	新規 **継続** 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

○　国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルなまち豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Ｉターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1　事業内容

⑴　公立のすべての小学校６年生と中学校１年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組みを行う。

⑵　すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。
　また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

２　事業期間
2015 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
851 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№42　事業名　英語教育推進		2021 年度予算額	33,434　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》
○　豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校１年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと９年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。

１　事業内容
⑴　豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
⑵　すべての小学校に配置している ALT とのティーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。
⑶　英語教育推進委員会において豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
⑷　豊岡市立小･中学校教員の授業力の向上を図る研修会(豊岡市英語教育研修会)を実施する。
⑸　イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学３年生）を実施する。

⑹　小学校５，６年生対象のデジタル教科書（教材）を購入する。2021 年度から次回教科書改訂の前年となる 2023 年度までの３年間、各単年度のライセンスを購入する。

２　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

33,434 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）
（ふるさと納税：5,000 千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№43　事業名　豊岡の未来を創る高校生支援		2021 年度予算額	2,600　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　小中一貫教育における「ローカル＆グローバル学習の時間」（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材の育成が育っている。

《事業目的（趣旨）》

○　３週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通した実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通したコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

１　事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル＆グローバル学習の時間」の取組（英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育）を受け、それを発展させた高校版ローカル＆グローバル学習に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

2,600 千円（ふるさと納税：2,600 千円）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№44　事業名　非認知能力向上対策		2021 年度予算額	2,603　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

○　豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことをめざす。

１　事業内容

⑴　非認知能力向上のための演劇ワークショップのプログラムの開発と試行

ア　モデル校２校おいて、平田オリザ氏監修のプログラムにより、小学校１年生～３年生に演劇ワークショップを試行的に実施する。

イ　指導には、専門性を持つ演劇関係者をファシリテーターとして活用する。

⑵　演劇ワークショップの効果測定の実施

ア　モデル校２校において演劇ワークショップによる非認知能力向上への効果測定を実施する。

イ　効果測定は、青山学院大学の苅宿俊文教授の研究チームへの受託研究で実施する。

２　事業期間

2019 年度～

３　事業主体

豊岡市

4　予算額

2,603 千円（地方創生推進交付金　補助率：交付対象額の 1/2 以内）

※ガバメントクラウドファンディングの活用を検討予定（目標金額 1,000 千円）

モデル校での演劇ワークショップの様子(2021.10.12)

担当課名【こども教育課】（内線　2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
№45　事業名　英語遊び保育推進		2021 年度予算額	4,242　千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている

○　喜んで人と関わろうとする子が増えている

○　自己肯定感を持てる子が増えている

《事業目的（趣旨）》

○　将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1　事業内容

⑴　英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュ）英語遊び指導を実施する。

ア　実施対象　　市内全幼稚園・保育園・認定こども園の４・５歳児クラス
（但し、既に取り組まれているなどの一部の園を除く。）

イ　実施回数　　年間 15 回程度（２週間に１回程度）

ウ　時　　間　　５歳児・40 分、４歳児・30 分

エ　指 導 者　　英語遊び指導員　８名

⑵　英語遊び研修会の実施
幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。
⑶　英語遊び通信の発行
保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。

２　事業期間

2015(平成 27)～2016(平成 28)年度　６モデル園で先行実施
2017(平成 29 年)度～　市内の公・私立園に展開実施

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

4,242 千円（ひょうご地域創生交付金　補助率：交付対象額の 1/2）
（ふるさと納税：2,000 千円）

ハロウィーンの文化にふれながら、
英語を使ったゲームを楽しんでいる様子

担当課名【こども育成課】（内線 2531）

具体的手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	2021 年度予算額	608　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
46	民間団体への婚活イベント補助	240　千円	継続
47	若者独身者交流	368　千円	新規
合計		608　千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている		
№46　事業名　民間団体への婚活イベント補助			2021 年度予算額	240 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（民間団体による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

○　民間団体が主催する婚活・恋活イベントへの補助制度によってイベント開催を促進し、独身男女の多様な出会い機会を創出する。

1　事業内容

民間団体主催の婚活イベントに補助し、民間活力による出会い機会の創出を促進する。

⑴　対象者　　市内の団体、実行委員会等
⑵　対象経費　　開催に必要な経費（飲食費、人件費等を除く）

※2016 年度からの累計　19 件実施、延べ 450 名参加、成立カップル 93 組

2　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

婚活・恋活イベントを実施する団体

4　予算額

240 千円（ふるさと納税：220 千円）

奈佐コミュニティが実施した
婚活イベントのチラシ(2019 年)

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている		
№47　事業名　若者独身者交流			2021 年度 予算額	368 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　若者の手により、自然な交流の機会が増える。
（若者自身による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

○　カップリングなどを行わない、気軽に交流できる場を設けることにより若者の交流を促進し、恋愛機運を高める。

1　事業内容

「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、カップリングを行わない交流の場を設ける。

「はーとピー企画委員」が市とともに内容を企画・運営し、新たに公募する「はーとピー協力委員」に事業運営の協力を得るなど、若者自身の手により若者の交流を促進する。

⑴　対象者　　20 歳～40 歳の独身者
⑵　開催時期　　月に 1 回を予定
⑶　開催場所　　市内レンタルスペース、飲食店等
⑷　事業内容　　「はーとピー企画委員」が毎月企画（雑談しながらゲームや占い、映画を見たりすることなどを想定している）

主要手段 06　結婚したいと思う人が結婚できている

２　事業期間

2021 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

368 千円（ふるさと納税：340 千円）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	2021 年度予算額	4,467　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
48	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）	1,146 千円	継続
49	出会い機会創出（はーとピー）	3,321 千円	継続
重複	（№46）民間団体への婚活イベント補助	（240 千円）	―
重複	（№47）若者独身者交流	（368 千円）	―
合計		4,467 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
№48　事業名	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）	2021 年度予算額	1,146 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
《事業目的（趣旨）》
○　お見合いイベントを実施することにより、成婚数を増加させる。

1　事業内容

女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いをする。

⑴　「恋するお見合い」事業の流れ

ア　男女各 36 人を募集

イ　１週目に男性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影。

ウ　２週目に女性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影。
女性は男性プロフィールを見て、お見合いしたい相手を選ぶ。

エ　複数から選ばれた男性は、お見合いしたい女性を選ぶ。

オ　双方の希望に基づきお見合いの組み合わせを決め、後日、縁むすびさんの立ち合いによりお見合い。

⑵　開催回数　２回（７月と 10 月を予定）

⑶　開催場所　市役所 立野庁舎内
※開催実績
2019 年度　１回
2020 年度　２回（１回は３月予定）

２　事業期間
2019 年度～

３　事業主体
豊岡市

４　予算額
1,146 千円（ふるさと納税：1,060 千円）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.49　事業名	出会い機会創出（はーとピー）	2021 年度予算額	3,321 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》
○　「はーとピー」で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》
○　婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を開催し、結婚を支援する。

１　事業内容
市の補助により 2013 年度から社会福祉協議会で実施し、2019 年度から市主催として実施している婚活応援プロジェクト「はーとピー」を継続して実施する。
⑴　婚活イベント予定開催回数　年間 12 回
⑵　結婚支援員が行うアフターフォロー
ア　イベントカップルの交際フォロー、相談業務
イ　「縁むすびさん」と連携したお見合い
※2020 年度（1 月時点）：５回開催、参加者 113 人、23 カップル成立
※2013～2020 年度累計：88 回開催、参加者 2,209 人、411 カップル成立
成婚（報告があったもののみ）44 組

２　事業期間

2013 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

3,321 千円（ふるさと納税：3,060 千円）

マスクを着用して行われた婚活イベント

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

具体的手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	2021 年度予算額	2,526　千円

【対象事業一覧】

事業№	事業名	予算額	区分（新規・継続・拡大）
50	ボランティア仲人養成（縁むすびさん）	1,140 千円	継続
51	結婚相談所機能拡充	809 千円	継続
52	結婚・女性活躍推進調査	577 千円	継続
重複	（№16）子育て支援総合拠点等整備	(571,487 千円)	―
重複	（№49）出会い機会創出（はーとピー）	(3,321 千円)	―
合計		2,526 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】――――――――――――――――――――

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
№50　事業名	ボランティア仲人養成（縁むすびさん）	2021 年度予算額	1,140 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
（市民による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

○　市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

1　事業内容

ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。

⑴　「縁むすびさん」登録後の活動の流れ

⑵　「縁むすびさん」への主な支援

ア　登録時に「登録セミナー」を開催

イ　研修と情報交換を行う「縁結び会議」を毎月開催

ウ　会報「縁結だより」の発行による啓発

エ　報奨金の支給（成婚１組につき３万円）

※事業開始（2017 年７月）から 2021 年１月までの実績

①　縁むすびさん　　140 人（男性 43 人、女性 97 人）

②　登録結婚希望者　　348 人（男性 206 人、女性 142 人）

③　お見合い数　　延べ 514 回

④　成婚実績　　９組

縁むすびさん
ロゴマーク

毎月開催している「縁結び会議」

２　事業期間

2017 年度～

３　事業主体

豊岡市

４　予算額

1,140 千円（ふるさと納税：1,050 千円）

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
№51　事業名　結婚相談所機能拡充			2021 年度予算額	809 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　結婚相談所による成婚数が増加している。
（公的団体（社会福祉協議会）による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

○　社会福祉協議会が実施する結婚相談所（Hapimari）事業費の一部に補助し、活動を活性化することにより結婚を促進する。

１　事業内容

社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員が、モチベーションを維持・向上するため、成婚報奨金の経費を補助する。

また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。

⑴　成婚報奨金（成婚１組３万円）
⑵　研修費（先進地視察研修等）
※2021 年１月時点　成婚数 23 組

２　事業期間

2016 年度～

３　事業主体

豊岡市社会福祉協議会

４　予算額

809 千円（ふるさと納税：740 千円）

社会福祉協議会　結婚相談所（Hapimari）ＨＰ

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.52　事業名　結婚・女性活躍推進調査		2021 年度 予算額	577 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○　まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。

○　子育てをポジティブにとらえる人が増え、希望どおりの人数の子どもを持つ家庭が増えている。

《事業目的（趣旨）》

○　結婚支援事業、女性活躍（子育て応援）事業を推進するための調査・研究を行う。

1　事業内容

地方創生に係る結婚の支援、女性の活躍（子育て応援）を推進するため、研修・視察等を行い、より効果的な事業の推進を図る。

全国結婚支援セミナーへの出席、先進団体視察など

2　事業期間

2016 年度～

3　事業主体

豊岡市

4　予算額

577 千円（ふるさと納税：530 千円）

まちをあげて結婚を
支援するロゴマーク

担当課名【健康増進課】（内線 3101）